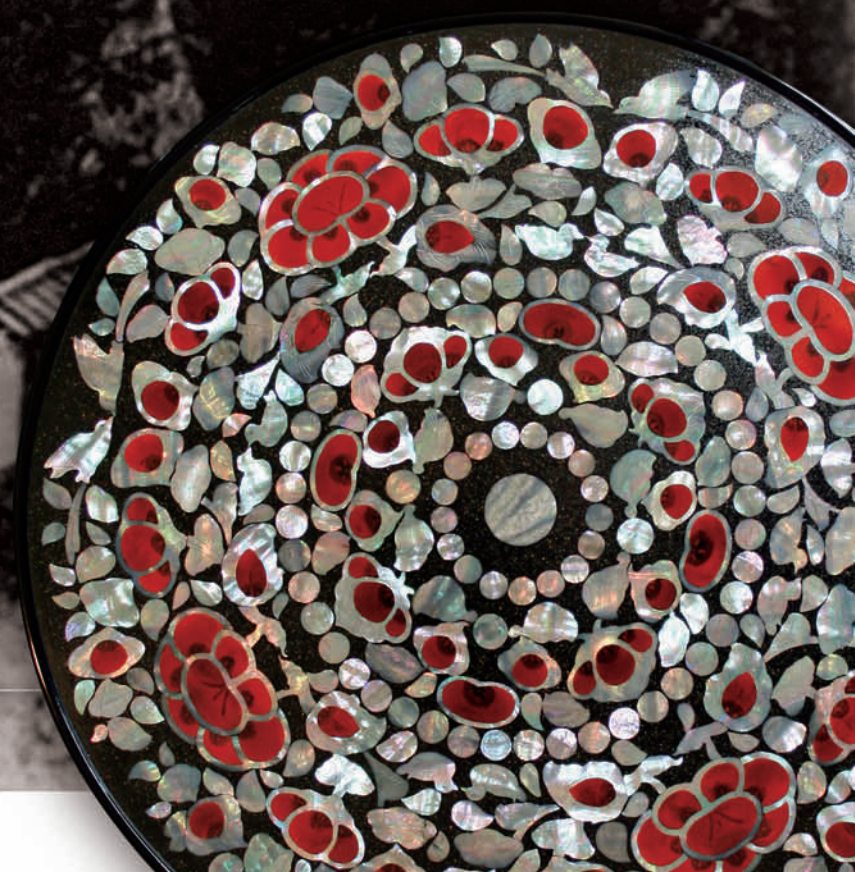


Imagin21

今
人
創
造

奈良の城
高取
城

奈良の
伝統工芸
奈良漆器
奈良漆器「樽井」



西暦2010年、そして平城遷都1300年。1月から1年間平城宮跡を中心に諸行事が催されることになっています。

メインは何といても、大極殿正殿が復元となりようやくその素晴らしい建造物が私達の目の前に現れた事です。いよいよ平城遷都1300年祭のはじまりです。

ところで、保存と開発は、奈良の永遠のテーマですが、それに関係なく奈良県内にたくさんの城跡がある事をご存知でしょうか…

城の姿をとどめているものが1つもないのが残念ですが、今回から「奈良の城」シリーズを、取材のできる限り続けることにしました。取材に快く応じていただいたり、貴重な写真等の資料をご提供いただいた方に厚く御礼申し上げます。とともに、忘れ去られようとしている歴史にも想いを馳せていただければ編集者として望外の喜びです。

代表取締役社長 近東 宏光

Imagin21



リレー連載	世界遺産	奈良の風景 ⑤	1 ~ 3
Essay		印刷文化逍遙 ②①	4 ~ 5
まちかど探索		千葉県「幕張新都心」	6 ~ 7
特集		大和の酒蔵めぐり ⑧	8 ~ 9
奈良の伝統工芸		「奈良漆器」	10 ~ 11
特集		奈良の城 ④ 高取城	12 ~ 13
付録		データ入稿の注意点	

職場風土改革促進事業への取り組み

少子高齢化社会にあって、これからは益々多様な働き方が企業に求められております。一方、働く人は、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をより重要視する中において、企業としてはそれらを必要十分に充足する環境づくりが不可欠であります。

弊社は、平成14年にはISO14001を認証取得、また18年にはプライバシーマークを取得するなど、時代のニーズに合致した経営推進に努力してまいりました。そして、労働時間等設定改善法が施行されて（平成18年）以後、社内で委員会をたちあげ「有給休暇を取得しやすい環境づくり」をめざし、残業が避けて通れない業界にあって、残業時間を少しでも減少する努力なども含め企業理念の中にある「人間生活の向上」に邁進したいと考えております。

人間生活の向上とは、従業員の仕事と家庭の両立を支援することでも大きく関係しており、具体的な取り組みは下記の通りです。

- 取組 具体的な
- 1 仕事と家庭が両立できる働きやすい会社作り（ワーク・ライフ・バランスの推進）
 - 2 育児・介護休暇制度の充実を図る
 - 3 その制度を利用しやすい環境作り
 - 4 管理職層への研修の実施
 - 5 両立支援制度の労働者への周知徹底

代表取締役社長 近東 宏光



わたしたちができる環境づくり

自然との共存を図りながら
限りある資源を大切に使い環境を守っていく—
私たちは時代に役立つ企業であり続けたいと考えます

編集/制作/発行
共同精版印刷株式会社 <http://www.kspkk.co.jp/>

本社：〒630-8013 奈良市三条大路2丁目2-6 TEL 0742-33-1221 FAX 0742-33-7035
大阪支社：〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目12-3 TEL 06-6271-7951 FAX 06-6271-7954
東京支社：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目6-4 TEL 03-3802-4741 FAX 03-3802-4740



リレー連載

奈良の風景

5

吉野山の構図

桜色につつまれた風景

吉野山勝景

芳野山 知紀
 雲霧此夏也
 志々福ども
 じんゆゆうん
 ささゆら
 あり
 り梨

吉野といえ桜

桜色に染まる吉野山をみると、奈良全体に春がやって来たように思われる。吉野山の桜は奈良北部よりも少し遅れて咲きはじめる、それに、下千本、中千本、上千本と少しずつ遅れて咲いていく。上千本が満開になるころには、奈良北部の桜の花は散っている。

今は、テレビや美しい写真集などを通して、その風景をみることができる。また、地上だけでなく上空からのアングルもあって地上では見ることのできない風景も楽しめるようになった。吉野山の桜は日本各地の桜の風景のなかで代表的なものとして数えられる。「吉野といえ桜、季節は春」というイメージが定着している。

の吉野と桜が結びついて広く知られるようになったのはいつごろなのか。

義経千本桜

吉野と桜が結びついたイメージは、すでに平安時代、古今和歌集の歌に表現されている。情景となって表現されたのは人形浄瑠璃・歌舞伎の世界であろう。源頼朝から追われた義経が静御前を伴って吉野に逃れたという話はよく知られていることであるが、延享四年（一七四七年）、このことを題材にした「義経千本桜」が人形浄瑠璃・歌舞伎で上演されるようになると、吉野と桜が視覚的に印象づけられていった。そのなかの四段目「道行初音旅」では、義経四天王の一人佐藤忠信をモデルにした「狐中信」と静御前が登場する。その舞台が吉野である。人形浄瑠璃・歌舞伎とともに上演され始

めた頃は、「義経記」などの影響もあり、桜の装飾はなかったようである。「吾妻鏡」によれば、義経が吉野へ逃れてきたのは文治元年（一一八四年）十一月十七日である。新暦と旧暦の違いがあるにしても、桜の花の季節とはほど遠い。ところが、人形浄瑠璃では宝暦五年（一七五五年）、歌舞伎においては明和四年（一七六四年）に初めて桜が登場したようである。舞台上の演出効果として桜が採用されたのであろうか。

義経や静御前という広く知られた人物の境遇と吉野という場が強く結びつき、都市部に住む人々の想像力を掻き立てた。題目の「千本桜」はそのイメージづくりに強いインパクトを与えている。そして、その舞台でくりにかえし演じられ、人々に広く認識されるようになっていったのであろう。

吉野山勝景絵図

「名所図会」に登場する 吉野山

出版物では、京の名所を紹介した『都名所図会』（安永九年（一七八〇年））の出版を皮切りに、各地の名所を記した名所図会が刊行された。名所図会には都市部とその周辺の地域にある名所をまとめたものや、国ごとに名所をまとめたものが多い。いずれも名所を地理的な関係に配列し、主に名所の説明、挿絵、名所歌を組み合わせた構図になっている点が共通している。これらの名所図会は人気を博した。今で言う観光ガイドブック、地理書に相当するのかもしれない。そのなかの挿絵が読む人に対して視覚的な効果を与えていたことはまちがいないと思われる。

現在の旅行ガイドブックが最新の情報を取り入れているのに対して、これらのような出版物はその名の通り、史跡や名所の記述が中心である。今の旅行ガイドブックは、飲食店や土産物、ホテル、乗り物などの案内がだいに増えて、最新情報誌に変わってしまったものが少なくない。ともかく、これらの出版物は旅行ガイドブックとは少し違った出版物とみてよい。



『大和名所図会』十市郡・芳野郡六乾

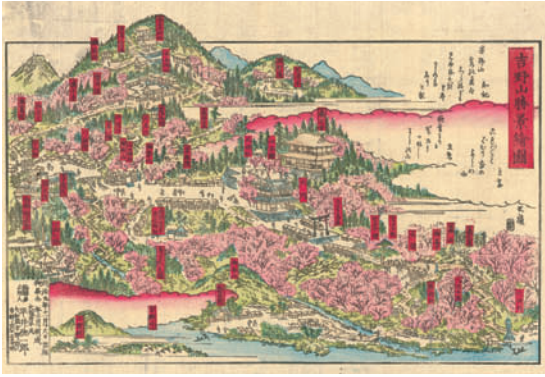
吉野が紹介される『大和名所図会』を手にとつてみよう。吉野郡では二十六番目の項目に吉野山が紹介されている。吉野山は、「金御嶽」、「金峯山」、「国軸山」の別名をもつという説明からはじまり、「金峯山」の由来については、「満山桜樹」と表現し、文人墨客が遊覧したことを記す。その後、万葉集、古今和歌集、新古今和歌集、拾遺集などに詠まれた歌がずらりとならべられ、挿絵が登場する。満開の桜の下で花見をする人々である。絵の右上には西行法師の歌「よしの山去年の枝折の道かへてまだみぬかたの花を尋ねん」が添えられている。表情豊かな人々が描かれた近景の構図は名所図会の特徴である。後述する絵図やガイドブックになると、このような構図はみられなくなった。

その後、吉野川、吉野水府神社などの項目がつづき、「千本桜」、「日本花」の記述がみられる。さらに、「千本桜」「日本花」の記述を受けて満開に咲く吉野山の挿絵がある。その絵には手前に吉野川が配置され、その背後全体に吉野山が描かれている。北から南に向かって吉野山を見るような構図である。さらにその後にも吉野山付近の挿絵があるが、見比べてみると山の樹木の描き方は繊細で植生を意識していることがわかる。彩色を施さず桜一面の山が見事に表現されている。それを見た人々は桜色の風景を頭のなかに描き、イメージをつくりあげていたのである。桜の風景が印象づけられた後に、町並みを形成する道には行き交う人やか、馬が描かれ、にぎわっている様子が連続していく。鳥瞰的な名所案内図として興味深い。

この名所図会よりも前に『和州芳野山勝景図』（正徳三年（一七一三年））が出版されている。挿絵は鳥瞰的な構図で、彩色が施されている。吉野山の道沿いは満開の桜が描かれていて、季節はやはり春を表現している。道中が詳細に描かれており実用的な旅行ガイドブックといえる。

絵図のなかの吉野山

明治時代には、「吉野山勝景図」、「大和國大峰山略図」、「金峰山吉野山参詣名所之図」、「大和吉野山大峯全景」のような案内図が刊行されていた。どれも、吉野川、吉野山、その背後に大峯が描かれている。とくに金峰山寺蔵王堂と大門から銅鳥居、黒門までの描き方はほぼ一緒と言えよう。満開の桜が諸堂を取り囲み山一面に描かれている。「吉野山勝景図」をみてみ



吉野山勝景絵図

よう。吉野川を手前に描き、金峯神社付近までの山の広がりをもうまく描いている。数ページに構成されていた前掲書の挿絵が一つに集められたようになってくる。中央付近に描かれた大門、蔵王堂、四本桜は印象的である。そして、道の両側に並ぶ建物と行き交う人々は前掲書と同様である。ただし、一紙に吉野山全体が描かれているために、全体が桜色に覆われているように美しく、距離感が失われ案内図として実用性に乏しい。



吉野山名所図会

大正十四年（一九二五年）発行）には、大阪、和歌山、京都、奈良方面からの鉄道路線図を添えた吉野山全体の鳥瞰図が描かれている。諸堂とともに桜満開の風景である。この図の裏側には、

吉野山名所案内と題した解説がついている。両面印刷されたこの図は折図の形式で、ポケットや小さな鞆などにも入るコンパクトサイズのもので、持ち運びが重視されている。

吉野山の構図と季節

明治中期から昭和末期までに刊行された名所案内記や地誌書、観光ガイドブック類をとりあげページをめくってみると、関西や奈良県の名所観光地のなかに必ずといってよいほど吉野山が紹介されている。奈良県の名所観光地は、北部に集中する寺社に偏って紹介されることが多いが、奈良県中南部の名所観光地では吉野山は群を抜いて紹介されつづけている。そして、その多くが写真入りで紹介されている。その写真とは吉野山一面に広がる満開の桜である。桜とともに蔵王堂、如意輪堂などが含まれた写真もみられる。つまり、その写真が示す季節は春である。それ以外の季節の写真や記述はほんの数例にすぎない。

前述のように吉野山の桜は下千本、中千本、上千本へと順に咲いていき、長期に桜を楽しめる魅力がある。一枚の写真では

その時間的な流れを表現できなかったため、その様子を文章で解説していることにも注目したい。近代になって絵から写真にかえられていった。そして、名所図会にみられた花見をする人々の表情豊かな構図がなくなった。桜色につつまれた風景が吉野山を印象づける構図として受け継がれている。

(付記)

本稿は、小栗千佳「吉野の桜と地域イメージ」（平成20年度奈良大学文学部地理学科卒業論文）をもとに作成した。作成にあたり土平と小栗が共同で加筆修正をした。



土平 博

【つちひら ひろし】

1966年・大阪府生まれ（奈良市在住）
 関西大学大学院文学研究科博士後期課程満期修了。
 現在、奈良大学文学部地理学科准教授。
 専門：歴史地理学（近世）
 近世城下町や陣屋町のほか絵図にも関心を持つ。「大和を歩く」（奈良地理学会編・奈良新聞社発行）、『広陵町史』、『王寺町史』、『都祁村史』など奈良に関する書に分担執筆。

協力

小栗 千佳
 奈良大学文学部
 地理学科・卒業生

※前号のリレー連載にて、タイトルを「奈良の風景⑤」としておりましたが、正しくは「奈良の風景④」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



印刷文化逍遙

20

本の装丁について

フランスでは通常、本屋さんで本を買うと、表紙などはごく簡単なものしかついておらず、もし本格的な表紙をつけようと思えば、別に製本屋さんを呼んで特別につけてもらわないといけない。

ごく簡単な表紙といえども、いろいろものかといえ、大抵は本文と共紙のものである。それで、愛書家は特別に製本屋に好みの表紙をつけてくれるように別注するのである。

ところで、日本の場合はどうかといえ、大体は印刷と製本はつながっていて、本になるときはそれなりの装丁になり、出上来がってくるのである。

たとえば、漱石全集なら橋口

五葉という装丁家がいたし、芥川龍之介なら小穴隆一という装丁家がいたことで知られている。

そして芥川は時には自分で自分の本を装丁したことがある。大正八年一月十五日発行の『傀儡師』がそうである。

いま、こうした実物を見ようと思えば、国立国会図書館へでも行かないと見られないが、レプリカでもよければ、運があれば古本屋で見られるかもしれない。

幸いというか偶然というか、偶々古本屋で『侏儒の言葉』『傀儡師』『羅生門』の三冊を古本で買うことができたが、これはもう僥倖というほかはあるまい。芥川は、文章にも凝ったが、本の装丁にも凝ったようである。

さて、装丁のことについて詳しく知ろうと思えば、庄司浅水という人の定本『庄司浅水著作

集』第七巻・装丁の歴史というのが一番詳しくすぐれているが、残念ながら現在では絶版になっているだろう。

ちよつと目次を覗いてみると、「書物と装丁」「海外装丁史」「イタリアの装丁」「フランスの装丁」「ドイツおよびオランダ、ベルギーの装丁」「イギリスの装丁」「日本装丁小史」「装丁時評」となっていて、その内容たるや国際的といつてもいいようなものになっている。

これが記載されている本というのは、出版ニュース社というところから出ている昭和五十七年版のもので、この種のものではおそらく一番のすぐれものであろう。

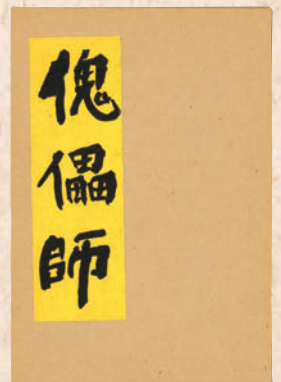
ちなみに「装丁の話」ではつぎのようにのべられている。

日本では製本はまだ職人の製本師にほとんど任されているが、実は立派な芸術で、芸術家ないしは素人の手によって行われるべきなのである。目下の日本では統制を受けていて困難だが、革表紙の装丁は金箔の押形によって絢爛たる美を生み出す。

欧州や米国の展覧会には、これらの作品が立派な工芸品として鑑賞されているのである。



侏儒仲間



傀儡師

ひと昔前までは職人に対する蔑視があり、その作業についてはかえり見られるところが少なかった。ようやく今日に至り、少しは日の光りが当たってきたようだが、その工程も大部分が機械化になり、手の術として誇ってきた部分が、残念ながら消滅しようとしているのである。

もちろん布製やクロス装の製本も立派だが、革装による豪華な外国の製本には、ただただ目を見張るばかりである。古本を買うために家族をつれてフランスに渡った日本のフランス文学者は、パリにつくと、まず一番最初に探すのは、その日に宿泊するホテルよりも、古本屋を先

に探して、家族から批難された話は、本人にとってどれだけ辛かっただろうか。



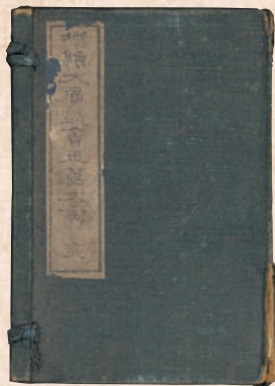
申酉戌亥編



辰巳午未編



子丑寅卯編



増續大廣益會玉篇大全帙

フランスについてあちこちの古本屋で本を漁っていたら、フランスの古本業者から「やっぱり同業者だったのか」と間違われた話など、腹を抱えて笑えないものがある。

本の装丁から少し話が脱線したが、古本の収集には目に見えぬ苦労がついて回るのである。

今ではめっきり減ってしまっただが、和綴本でも良心的なものがある。祖父から譲り受けたものに、三冊本の『増續大廣益會玉篇大全』という全文漢文の漢和辞典がある。奥付をみると、明治十三年八月八刷という文字がみえる。そしておどろくべきことに、この辞書は全文手彫り銅版の汗と涙の結晶なのである。しかも三冊帙仕立てになっていて、立派な文化財といってもよいかも知れない。

帙仕立てということ、ついでながらも一冊紹介しよう。それは瀧井孝作の『俳人仲間』で版元は新潮社である。藍地の布袋で白抜き文字がどっしりと中央に構えている。昭和四十八年十月十五日、初版発行である。瀧井は昭和のはじめ、奈良市の福井町に住んでいて、今もその白壁の塀が残っている。妻は助産婦をしていて、夫の生計を助けたといわれている。

あと、大宰治の『晩年』の復刻本がある。フランス製のアンカット版で、なかなか瀟洒である。もし本物なら百万は下らぬだろう。

そして最後に登場するのが横光利一の『機械』である。菊判の装丁は佐野繁次郎。句読点の少ない読みにくい文体だが、新鮮な感じがするのも事実。

昭和文壇では話題になった一冊で、この作品には伊藤整や一部の評論家に注目された。また、さきほどの庄司の「装丁異色集」では書物展望社から出た石川啄木の『悲しき玩具』と長塚節の『浮巢』があげられている。

続く「装丁随評」では荷風の『溼東綺譚』、谷崎潤一郎の『猫と庄造と二人のをんな』に言及されている。さらに「装丁の話」では図入りの装丁の実際について語られ、その他、和綴じの仕方など幅広く造本への知識が得られるように語られている。

また、『近代日本総合年表』や『経済学辞典』に至る活版からオフセットに移行した経緯等についてのべられ、その背景における印刷事情や出版の様変わりなどについて教えられるところがあった。

ともかく自分が出版する本について色々と注文をつけたり、

みずからデザインをすることは、何ものにも変えがたい贅沢であるが、とくに芥川龍之介の装丁は絵ごころが感じられ、『傀儡師』は彼らしい息づかいが伝わって来そうな気がする。

近ごろは何もかも機械化が進み、手づくりの良さが失われつつあるが、やはり手仕事というものには、いかなる時代が来ても、大切なものである。そういう意味で原田多加司の『職人暮らし』という一冊は、伝統と技術を伝える大切なものではないだろうか。もう一度原点に立ちかえって、古い本とかかわっていきたいと思っている。



嘉瀬井 整夫

【かせい ただお】

1934年京都市に生まれる。

1949年より同94年まで印刷産業に従事。

奈良県立短期大学(現奈良県立大学)卒業。

主著『井伏鱒二私論』

『奈良大和路文学散歩』

『奈良高畑日記抄』ほか。

文芸評論家。

千葉県 幕張新都心

東京湾を見渡すと、そこには海上都市を彷彿させる、壮大な都心が目に入ります。そこは幕張新都心。

かつて「浮島の駅」と呼ばれたこの地は、驚異的な変化を遂げ、いまや国際業務都市として生まれ変わりました。

幕張新都心は、千葉県が一九七三年から千葉市幕張地先に埋立造成した土地に東日本旅客鉄道（JR東日本）京葉線の海浜幕張駅を中心とした「タウンセンター地区」・「業務研究地区」・「文教地区」・「住宅地区」・「公園・緑地地区」・一九八九年に編入された「拡大地区」の六地区から構成され、一体的集積を目指し建設されました。

特に、タウンセンター地区に於いては、海浜幕張駅を中心とした、ショッピングビル・映画館・アウトレットモール・SPA・パークレットなどの商業施設や、ホテルが開業されています。遠方からの来訪者や、東京デイズ・リゾート、成田国際空港への利用者の滞在場所などとして利用されています。

幕張新都心の歴史

- 1973年 ▶ 海浜ニュータウン幕張地区埋め立てを開始
- 1975年 ▶ 幕張新都心基本計画発表
- 1980年 ▶ 幕張地区の埋め立て完了
- 1982年 ▶ 幕張メッセ構想発表
千葉スタジアム構想発表
- 1983年 ▶ 幕張新都心事業家計画策定
- 1985年 ▶ 幕張メッセ施設基本構想策定
幕張新都心都市施設基本計画策定
- 1986年 ▶ JR京葉線「海浜幕張駅」開設
- 1987年 ▶ 幕張海浜公園オープン
- 1989年 ▶ 幕張メッセオープン
- 1990年 ▶ 千葉マリンスタジアムオープン
幕張テクノガーデンオープン
- 1991年 ▶ ワールドビジネスガーデンオープン
- 1995年 ▶ 「幕張ベイタウン」オープン
- 1996年 ▶ メッセモール完成
- 1997年 ▶ パルプラザ幕張オープン
- 2000年 ▶ ガーデンウォーク幕張（現アウトレットパーク幕張）オープン
- 2002年 ▶ シネマ・コンプレックス オープン
- 2008年 ▶ 飲食店ビル「スーク海浜幕張」「あうね幕張」オープン





ホテル(大小6軒の都市ホテル)

客室数はホテル群合計で2,200室を超え、ディズニーリゾートへの観光客にも利用されています。



ビジネスエリア

国内外を代表する約440社の企業群には、約4万人が就業し、ビルの窓から「幕張の浜」が見え、眺めは最高。人気の高いビジネスエリアとされています。



幕張メッセ

スポーツイベント・トレードショー・コンサート等様々なイベントが行われます。特に、コンベンションホールでは、4ヶ国語の同時通訳が可能なブースが設置され、最大2,000人規模のパーティーに使用できるスペースがあります。



メッセ・アミューズ・モール

全10館・総座席数2,000の映画館と、飲食店や物販店を併合する複合娯楽施設。



カルフル幕張

フランス発のハイパーマルシェ・デリカテッセンやベーカリーがあり、豊富なチーズやワインが自慢のショッピングモール。各国の調味料などが手に入り、中でもパン・チキンが人気商品です。



三井アウトレットパーク

人気有名ブランドの衣料品や雑貨など94店舗を擁するアウトレットモール。ハイクオリティな商品をアウトレット価格で購入できます。



マリスタジアム

千葉ロッテマリーンズのホームスタジアムとして有名な、マリスタジアム。社会人野球、高校野球などにも利用されています。また夏の野外コンサートとしても利用され年中賑わいを見せています。



ベイタウン

魅力的な都市デザインと良好な教育環境。そして、海に近い素晴らしいロケーション。現在9,000戸、約30,000人が住む街になっています。



パルプラザ幕張

「にぎわい・ふれあい・たのしい」をコンセプトに、飲食・物販等のテナントが入居。中でも新鮮な魚料理を味わえる居酒屋「華」はおすすめ。

割り込みトピックス



奈良まほろば館

お江戸日本橋で奈良を知る

平城遷都1300年祭を中心とする観光情報発信・奈良特産品の販売・各種文化講座を行う、奈良県アンテナショップが東京・日本橋にオープンしました。日本の歴史・文化が連続と続いたことを「祝い、感謝する」「平城遷都1300年祭」の内容、見どころを案内します。もちろんせんたくんグッズも多数販売し、奈良の大和茶を楽しめるカフェもあります。

■入館無料/10時半~19時 TEL.03-3516-3931

■アクセス 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」徒歩1分



特集

大和の酒蔵めぐり

河合酒造株式会社

8

ひっそりと江戸の町並みを今に残す今井町。幾重の時を経て、その文化・歴史は脈々と受け継がれてきました。今回は、その今井町にある河合酒造様を訪れました。



江戸の町並みを今に残す今井町は、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されています。そのひっそりとした佇まいに、杉玉が吊るされていることに気づきます。そこは、国の重要文化財に指定され、江戸時代中期から続く蔵元「河合酒造」。屋号を「上品寺屋」といい、酒づくりの始まりは定かではありませんが、明和九年（一七七二年）には既に酒造業を営んでいたと文献に記されています。

当時、今井町には数軒の造り酒屋があり、多くの酒が醸造され町内は勿論、南大和一円に供給されていたそうですが、今では町内で現存する唯一の酒蔵となりました。

「お酒の種類や生産量を見ても決して大きな酒蔵ではありませんが、昔からの伝統を守り続け

ること、そして丁寧なお酒造りを心掛けています。」と取締役社長の西川暁子氏は語ります。その想いは、多くの人々に共感を得ることから、地域の方々に親しまれ愛飲されているのは勿論、県外からも多くの観光客が訪れ、お土産として持ち帰られます。中でも、代表銘柄である「出世男」は、縁起の良い名前であることから贈答品としてよく利用されるそうです。また、住宅内には、「上品寺屋」と屋号が書かれた献上用の酒樽や、江戸時代に使用していた今で言う「ギフトカード」など、お酒に関する貴重な名器が残っていることから、お酒だけでなく、江戸の歴史・文化を味わうことが出来ます。

秋から冬にかけて酒蔵が忙しくなります。今年も「こだわりのお酒づくり」が始まります。

心づいた

献上の際に使われた酒樽。「諸白」とは江戸時代の酒の総称です。

江戸時代では珍しい、二階のある造りです。

河合家貝学

「外居（ほかい）」といい食料入れに使われていたそうです。

戦国時代より伝わる芦屋釜。

●純米吟醸 上品寺屋
上品寺屋
辛口ながら米の旨みもしっかり味わえ、喉越しすっきりの上品なお酒です。

●蔵だしにがり酒 出世男
甘口で女性に好まれるお酒。甘味と酸の調和が良く、とろりとした滋味があり冷やして飲めば最高です。

●大吟醸 出世男
淡麗タイプ。贈答用に一番出る銘柄です。

こだわりの
お酒

河合酒造株式会社

〒634-0812 奈良県橿原市今井町1丁目7-8
TEL 0744-22-2154 FAX 0744-24-1061

●吟醸 香具山
芳醇な香りとやや濃厚な味わいで飲み口はさわやか。大吟醸と遜色ない出来栄です。

●純米酒 うねび
淡麗辛口で濃厚な香味です。冷酒あるいはぬる燗どうぞ。

●大和の酒蔵めぐりは勝手ながら今号をもちまして、終了とさせていただきます。全8回と長きに渡りご愛読頂きました皆様に感謝申し上げます。

9 Imajin21

奈良の伝統工芸 ⑪ 奈良漆器

世界に名をはせる匠のワザ

きらびやかな天平文化に、優雅さを誇った奈良漆器。七世紀後半に大陸からシルクロードを渡り伝わった漆芸の技術は、千年の時を越え、色褪せることなく現代に輝き続ける。

漆工芸の歴史は古く、五三二年の仏教伝来を機に、隋・唐の影響を受け、塔堂伽藍の建立や本尊持仏・仏具調度の制作に用いられた頃から盛んになったと言われています。なかでも、今尚その威容を誇る法隆寺の玉虫厨子は、漆工芸品の最高傑作と言えます。

それらの歴史から生まれた深遠な輝きと美しさを誇る奈良漆器は、三十五以上の工程を経て作られます。高度な技術を要するため、機械化も量産化も難しく、一つ一つの工程が手作業によってなされています。また本堅地（ほんかたじ）蠟色（ろういろ）塗りという技法を用いることで奈良漆器は、三〇〇年以上もの間、その美しさを保つことが出来るといわれています。

正倉院宝物の復元により

紐解かれた、匠の技

奈良漆器の最大の特徴である螺鈿技法は、貝殻を平らに削り、文様の形に切って漆器にはめ込んで装飾するものです。明治以降の漆芸家達が、日本工芸の最高峰と位置付けられている正倉院の宝物の修復・復元模造に携ったとき、古の職人技を現代に蘇らせることとなりました。その製法を基に、形作られていますのが現代の奈良漆器の螺鈿細工です。厚さが約1mmもある厚貝を使うことで、光が貝の内側から反射し、同じ模様でも貝によって様々な見え方や表情をかもすだし、この世に一つとして同じものはない芸術作品が生み出されています。

かつては塗師や螺鈿師、蒔絵師



螺鈿技法に使用される厚貝



正倉院文様 螺鈿飾盛



鶴岡八幡宮の琵琶



といった漆器作りを分業化し、それに従事する職人が多くいました。しかし現在では限られた少数の漆芸家が、全ての工程を担い漆芸活動をされています。今回その中の一人である樽井氏にお話を伺いました。

樽井氏は、独自の技法を凝らしながら長い伝統を受け継ぎ、春日大社の修復や、奈良の重要な寺院の漆器や調度品を作り続けてきました。

また、最近では鎌倉市の鶴岡八幡宮の依頼で琴や琵琶を制作して話題になり、奈良漆器の製法を守りながら絶えず新しい創作に挑み続けています。


漆芸技術を後世に残すためには、求められた仕事を確実にこなしていくことが大事だと氏は語ります。漆をとりまく環境は決して良いものではなく、その

中で先人達は、時に時代に順応しながらも、漆の伝統技術を伝えてきました。それをさらに次代へと受け継いでいくためには、仕事を選ばず、そしてその仕事をやり抜くための勉強を続け、本物だけを作り続けていくことが大切だと言います。


明治の漆芸家により解明された、天平の崇高な奈良漆器の匠の技は、時代と共に洗練され、職人の物づくりに対する熱意と共に、先人から次の世代へと脈々と受け継がれていきます。

※1 本堅地⇩下地の方法。砥粉(このこ)または地粉を水で練って生漆と混合し、粗い粉末を混ぜたものをいちばん下に塗り、乾かしてからその上に順に細かい粉末のものを塗り重ねていく方法で、回数を重ねるほど丈夫な塗物ができる。

※2 蠟色⇨漆塗りの技法の一つ。蠟色漆で上塗りをし木炭で研ぎ、砥粉などで平らにし、摺り漆をして磨いて光沢を出したものを。



プロフィール
家業の塗師を継いで40年あまり。国宝唐招提寺の講堂や薬師寺・法華寺・春日大社など、歴史に名だたる寺院の漆塗工事などを手掛ける。春日大社から「春日大塗師職預」を拝命。また、号の「檀醉」を賜る。



至近鉄奈良駅
至十の坊S道
清美小学校
萬勝堂
●全労済 奈良県支部
八軒町東

奈良漆器 樽井
〒630-8325 奈良市西木辻町358
TEL&FAX 0742-22-0595



特集

奈良の城 高取城

奈良にも多くの城が存在した。時代の流れと共にそれは城跡となり、私達の心から忘れ去られようとした。再びその存在を知り、そこに息づくエピソードを紐解く。それは、私達のルーツを知ることになる。



見上げると煙硝櫓があり、左の端には小天守が存在したそうです。

「異高取雪かと思えば、雪ではござらぬ土佐の城」と白亜の見事さを謡われた、日本三大山城として名高い大和高取城。

奈良盆地と吉野地方との間に障壁のように連なる山塊中の高峰にあり、近世の山城としては異例の高さと規模を有し、中世の山城（カキアゲ城）が築かれて以来、幕末まで六〇〇年余りの歴史をもちます。その規模は、日本一の山城とされています。

南北朝時代、越智氏によって築かれた高取城は、詰の城として越智氏の本城貝吹山城と常に連携を取っていた城です。

城下町は札ノ辻で町家と武家屋敷群に区分され、旧高取藩の家老屋敷（長屋門―植村家）、武家屋敷（田塩家）など数軒の武家屋敷が現存し、土佐の町（大和政権時代、土佐の国から移り住みついた地とされる）を中心に低い軒先、出窓、格子戸の古い町並みが続き、土佐街道には古くは油屋、鋳物屋、呉服屋など五〇〇軒が軒を連ねていたと言われています。

また、菓の町としても知られ

るこの地は、大峰山・大台ヶ原の近場ということもあり、江戸時代に「大和の菓売り」が栄えました。

天正八年（一五八〇年）、織田信長の大和国一國一城令により一旦廃城となりましたが、天正十二年に筒井順慶が、高取城を大和郡山城の詰の城として復興を開始しました。天正十三年（一五八五年）、息子・筒井定次は伊賀上野へと移され、大和・和泉・紀伊の三国は豊臣秀長が領することになり、高取城へ秀長の家臣・本多正俊が入りました。秀長は、筒井順慶と同様に高取城を詰の城とし、居城大和郡山城の大改修と共に、高取城も近世城郭へと改修しました。



表紙にも使われているこの写真は、最後の城主・植村氏が明治22年に撮影したものです。

●天守閣と小天守がある
通常、山城は天守閣のみで小天守はありません。小天守があるのは、数少ない例だそうです。

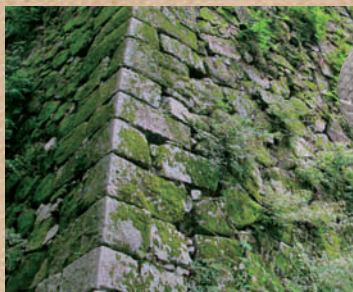
●国見櫓から絶景が見える
今でも草木で生い茂った中から、奈良を一望することが出来ます。晴れていると大阪まで見渡すことが出来ます。

●櫓(やぐら)の棟数が多く、名称が独特
具足櫓(ぐそくやぐら)や太鼓御櫓(たいごやぐら)など、他の城にはない高取城独特の名称が付いています。

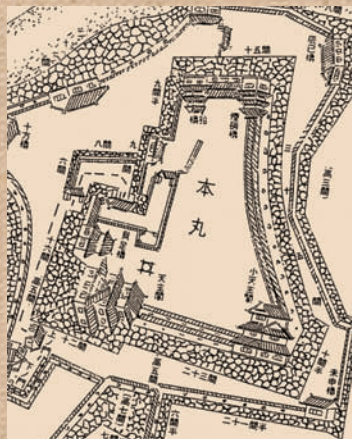
●平成18年(2006年)に日本100名城に選定されました。
詳しくは日本城郭協会をご覧ください。
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~nihonjokaku/>



●天守台の石垣は、直線になっている算木積み(さんぎづみ)
算木積みとは、長方体の石の長辺と短辺を、交互に重ね合わせて強度を持たす工法です。通常は、反りがついているのですが、反りが無いのが特徴です。



●平山城と同じ構えの連郭式縄張り(れんかくしきなわばり)
平野の中にある山・丘陵等に築城する方法を、山城に適用したのは、建設する余裕があったので平山城と同じ構えとなっています。



●アクセス
最寄り駅は近鉄壱阪山駅(特急を含む全ての列車が停車します。)

城の特徴



森の中に佇む猿石

石垣を作るため、石が豊富だった明日香村から石垣に使いそうな石を運び、転用していました。二の門外、大手筋、岡口門の分岐点によく見られ、飛鳥時代・斎明朝(七世紀)のものと推測されます。石垣に転用するには考えにくい様相なので、草むらの中にぽつんと置いてあり、初めて見た人は驚かされます。

本多氏は、大和^{※2}大納言家断絶後、一五〇〇石を領して大名となりましたが、寛永十四年(一六三七年)、本多利家に嗣子^{※3}(しし)無く断絶となり、植村家保が高取藩主だった頃の文久三年(一八六三年)天誅組の変が起き、高取藩は一〇〇〇人余の天誅組に対して二〇〇人程度の兵力で、大砲と鉄砲を激しく撃ちかけ勝利を収めました。敵に攻められたのは、この一度だけとなります。寛永十七年(一六四〇年)に



子嶋寺に移築された二の門



植村家長屋門

植村家政が二五〇〇石で入封し、植村氏が明治まで代々領主となりました。
高取城は、明治維新に廃城となり、天守以下の建物が取り壊されましたが、城下町の土佐(高取町)に、二の門(子嶋寺)と新御殿表門(石川医院)が移築して残り、その古き門には、当時栄えた文化と難攻不落の城を思わせます。

※1 詰の城(複数の城を防御地域を設定した場合最終拠点となる城)
※2 大和・大納言家(秀長の系譜)
※3 嗣子(跡継ぎ)

Data 入稿の注意点

データ入稿といえばアプリケーションソフトの種類やバージョン、写真の解像度やサイズ等、多くの確認を必要とします。ここでは、データ入稿の際に、これだけは注意しておきたい重要なポイントを紹介します。

✓入稿メディア

入稿は下記メディアを利用頂けます。**オリジナルデータは必ずバックアップ**のうえ、お手元に保管して下さい。尚、コピーしたメディアのデータファイルが確実に開くことを予めご確認下さい。また、**出力に関係のないデータは入稿されないようお願いします**。また、印刷データ確認用の為に、最終段階の体裁見本となる**原寸のプリントアウト**を添付して下さい。

使用可能なメディア **CD-R・DVD-R・MO・USBメモリ・HD・FD**

※データ容量が大きい場合は、弊社にご相談下さい。



メディア



プリントアウト

↓
入稿

✓入稿データ作成の注意点

【1】入稿データは下記ソフトでの制作をお勧めします。

Adobe Illustrator：短ページ物の制作に便利な定番グラフィックソフトです。DTPには欠かせないソフトです。

Adobe Photoshop：画像処理ソフトの定番です。

Adobe InDesign：正確な文字組版から緻密なレイアウトまで幅広く対応するページレイアウトソフトです。近年 QuarkXpress に代わるソフトとして普及しています。縦打ちに強いのが利点です。

Quark XPress：本1冊を丸ごとひとつのファイルで作成する定番のページレイアウトソフトです。

【2】**フォントは全てアウトライン化**して下さい。(但し、文字修正を要する場合は、アウトライン化前のデータも併せて入稿して下さい。)アウトライン化することで、フォントが文字ではなく、図形として認識され正しく表示・印刷することが可能となります。

あ

アウトライン前

あ

アウトライン後

【3】入稿データは、**必ず拡張子 (.ai など) が付いていることを確認**して下さい。制作アプリケーションの判別がつかないことでファイルを開くことが出来ない場合があります。また、**ファイル名は半角英数字**にして下さい。日本語などのファイル名は、メール入稿の際に転送中のデータ破損を引き起こす原因となります。

【4】1色印刷での入稿データは、**必ず1色のみ**のデータを制作して下さい。不必要な色が使用されていた場合、出力結果が異なる場合があります。

●もし Microsoft Office で入稿される場合は…

Microsoft Office は**商業印刷用に開発・制作されたソフトウェアではありません**。そのため、お客様が思う印刷イメージと違った内容で出力されることがあります。未然に防ぐ為、以下の点に注意して下さい。

- Office ソフトのバージョンと使用フォントは**必ず明記**して下さい。
- Office 系のソフトでカラーの指定をされた場合、RGB から CMYK に変換して印刷用データにするため**色が大幅に変わります**。特に、明るい色・薄い色は大きく変化するのでご注意下さい。
- Office 系ソフトでは、断ち(用紙の端まで印刷を行うこと)が出来ません。必ず、用紙余白を上下左右塗り足し込みの寸法で制作して下さい。

- 【5】 カラーの設定濃度が300%を超えるものは、裏うつりの原因ともなります。また高濃度のブラック（リッチブラック）を使用する場合は、下記の値で制作して頂くことで裏うつりを回避出来ます。

■シアン 50% ■マゼンダ 40% ■イエロー30% ■ブラック100% 合計220%

- 【6】 特色印刷の場合、色見本やDIC等のカラーガイドが必要になります。

- 【7】 印刷データには、断裁する際に目安となるトンボ（右記参照）を必要とします。仕上げ位置に絵柄が入る場合は、塗り足し3mmを付けて作成して下さい。塗り足しが無い場合、トンボで仕上げた際、用紙の端に白い紙色が出てしまう場合があります。文字や絵柄等で切れては困る内容は、仕上げ位置より3～5mm以上内側に入れて下さい。また、トンボの外には不要なパーツを残さないで下さい。

- 【8】 印刷する仕上げサイズで制作して下さい。

- 【9】 トンボは必ず付けて下さい。



✓ 画像データの注意点

- 【1】 画像は、すべてCMYK（またはグレースケール）形式に変換したデータを入稿して下さい。RGB形式のデータは、仕上がりがイメージとは異なる色で印刷されることがあります。
- 【2】 画像がドキュメントに埋め込まれた状態で入稿する場合も、ドキュメント上で修正出来ないのので、画像データも併せて入稿して下さい。
- 【3】 ファイル形式は、EPS形式（CMYKモード）またはJPEG（最高・低圧縮率）に変換して下さい。それ以外の形式は、正確な出力が出来ない場合があります。
- 【4】 EPS形式で保存の際、プルダウンメニューの「エンコーディング」をバイナリ形式に設定し、「ハーフトーンスクリーン情報を含む」「トランスファ関数を含む」項目は、チェックしないで下さい。
- 【5】 リンク画像は、等倍（100%）で画像解像度を300～350dpi（pixels/inch）に設定して下さい。面積に応じたデータ容量の目安は下記の表を参考にして下さい。

RGB形式のデータで印刷した例



サイズ	画素 (pixel)	RGB (MB)	CMYK (MB)
A 1	94,761,136	271.4	362.1
A 2	47,380,568	135.5	181.0
A 3	23,690,284	67.9	90.5
A 4	11,845,142	33.9	45.2
A 5	5,922,571	16.9	22.6
A 6	2,961,285	8.4	11.3
A 7	1,480,642	4.2	5.6

- 【6】 スキャンしたデータやエクセルなど他のアプリケーションで作成したドキュメントに必要なデータは必ずドキュメントデータと共にフォルダに入れて入稿して下さい。出力エラーになった場合の対応や、データを修正する際に必要となります。

命が吹き込まれる

木が育ち

樹が育ち



奈良漆器「樽井」

Imajin21

今創
人造

悠久の歴史の流れ、古の都は
今も、その面影を色濃く残す
いくつものドラマがあり
新たな時代が生まれた
そこから先人の英知を知り
人を見つめ直す
そして「今」を創造す

KYODO SEIHAN PRINTING



そして紙ができ



私たちは、平城遷都1300年
記念事業を応援しています。



ミックス品
責任ある森林管理のマーク
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001747
© 1996 Forest Stewardship Council

本誌は、「FSCミックス認証紙」を使用しています。

